

監査報告書

令和2年5月25日

社会福祉法人 諒和会
理事長 藤井 淑人 殿

監事 吉田 精悟
監事 橋本 美紀

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの平成31年度(令和元年度)の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、必要に応じて随時法人の事業所を訪問し、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、法人外部監査人の協力も得て、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその付属明細書)及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3) 監査結果における意見

現下の社会情勢により、求められる活動は増加する中で、収入増は期待できず、施設の経年劣化による支出の増加が懸念される為、経営の刷新を機により効率化を進められることを意見とします。

以上